（昭和25年7月9日 第三種郵便物認可）

夕刊 常磐毎日

発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210 編集兼発行人 池田一夫

毎日新聞 常磐

昭和28年4月10日（金曜日）第855号 （一）

人物本位で尊い一票

泣き落し戦術より 地方開發に働く人

選挙の度毎に泣き落し戦術の得意な人がいる。平常は頭を下げることも嫌いな人が一度び選挙となると「御同情を願います」と膝上からほんとうに泣いてお願いする、可愛相だと云つて一票投ずる気持ちになる。しかしこれは過去の事であつて、候補者が泣いたから一票を投ずるというような無自覚な有権者はもういない。民主時代となつて、親子でもその主義主張に応じて個々別々に投票している新しい時代、旧式な泣き落しにだまされるような人はいないだろう

度々の選挙によつて有権者の自覚は向上している。同情をして一票投じたが、さて任期中の行動を見ていると地方のため、何んにもならなぬ。いばつてばかりいて地方民と膝を交えて話をすることもしない

こんな人物は断然排斥すべきである。静かに今回立候補した人々の過去の行動をよく研究することである。平市のため、石城郡のため一つでも仕事を実行してくれたか否かを再検討すべきである

情実で汚すな一票 人物本位で投票せよ

清き一票の行使は今回の総選挙では最も大切なものであり、棄権をするが如きは自己の権利を放棄するものであるが故に、最も慎重でなければならぬ

前述の泣き落しと共に情実にかられて嫌々ながら投票する事があつてはならぬ。このような投票で当選したとしても依然としてこの人は、国家のためにも地方のためにも、何ら役にたたぬ

仕事をした人は誰

人物である事はもちろんである人物本位に、ほんとうにわれわれの役に立つ人物に投票して、地方開発の一助にすることが最も大切なことである

此処において現在まで我らの希望している通りの仕事をやつたものは誰かという点を研究する必要がある

この点になると高木松吉氏は単に三区のみの問題許りでなく、福島県のために働いている。これらの事実を実践するものに本宮町あり、二本松あり、福島あり

政黨のあり方を よく認識せよ

今次選挙の結果、首班の行方はどうなるかは興味の点である。ワンマン党が過半数をとるとは予想出来ぬ。そうなると自然連立内閣となる

社会党右派は盛んに左派へ呼びかけて、連立を唱えているが、左派は承知しない。しかし左派はいまだ城地方に、相馬双葉地方にまた本県の重要問題は山積している。これらを直ちに解決せしむる一票を、働く候補のため投ずる事が今次選挙に課せられた重大な使命であろう

大野派は支流で 鳩山派は本流案

只見川開発問題は重要な今次選挙の課題である。過般選挙にも本派案を支持し、今回の選挙でも新潟案を向うに廻して活躍したのは高木前代議士であり中央の情報及び翌原経文書問題でも単身活躍したことは承知の事実である

これを横取りして自分が仕事をするが如き政策をかかげている候補者がある。それのみか新潟支持に対しては大野伴睦氏が声明を発した事も承知のところである大野一派はかくて支流案という癌いは濃厚であり、幾多のデマに乗せられぬことが緊要で、この際この点を再認識せねばならぬ

あなたの一票は 地方振興へ行使

政府党内に四ケ年も閣員としていながら、地元のために何一つ仕事をしなかつた閣員というものは全国でも珍らしい結局その手腕がなるのが当然なのに、三区の人々かつたのか熱意がないのか判らないは何を考えているのでしょうかいが、われくの一票は、直ぐ生活に直結した生きた政治を行うための原動力とならねばなら

かくて鳩山派の候補者に人気は集中されているのもむべなるからである

鳩山派は本流案

鳩山派と緑光氏との提携が世間の期待を裏切らず新政権を握ることであろう

又も煙草屋を 襲う

内郷赤痢増

内郷町内町字前田三二大和田久仁子ちゃん(四つ)は九日夏性赤痢と判明、直ちにかくりした

大越市長母堂

常磐炭礦株式会社々長大越新氏母堂タケジさん(六ころ)は、九日午前十一時七分、東京都港区芝高輪町南町四四の一の自宅で老衰のため逝去された、葬儀その他は追つて決定される

ワンマン政治の是正

憲法改正の必要を説く

吉田首相被聞は世界に例のないものだその当時の模様につき石橋元蔵相は次の如く語つた

談話 石橋氏

被聞委員会にまでかけるようになつたとき、何んとかして元の自由党にしたい、さうするには吉田に考えを改めさせる以外手はないと言うことで、色々聞き合らが心配した

昨年御承知の鳩山、吉田首班争いの記事が新聞をにぎわしたがあれはそうぢやない、あの時鳩山は、追放の時の約束もあり、自由党民主化四原則（秘密外交はしない、側近政治はやめろなど）を吉田に提示した、吉田はその四原則をのむ、それなら宜しい君が（吉田）さうしてくれるなら君に一票を投ずるとまで譲歩して、再び自由党を吉田に任せた

鳩山と吉田とが本当に首班争いで個人的な抗争なら、あの時に我々はやれた、鳩山を首班に断固として自由党に入れてやれたのだが、鳩山は首班になることを望んでいたのではない、自由党本来の姿に立返つてくれることを望んでいたのだ、今日からみると実に立派なことをダマシたのだ、盗人タケタケしいとはこのことだ吉田の気持は見えすいている、その危機を通過すればゴウ然と反撥的ワンマンの態度に出るのが吉田だ

遂に鳩山との民主化四原則を葬つて、バカヤロー無礼者呼ばわりまで来てしまつた、ふだんつき合のよい吉田なら笑話となつた程度ですんだがふだんからの我ままが積もり積つて懲罰委員会にまで追い込まれたわれくもとうくサジを投げ残念だが、一応吉田をつぶして民主政治の立直しを考えた

吉田は最後のアガキで憲法廿九条をたてに総辞職を頻振りして解散と言う反撥の暴挙に出た吉田はこんど過般数をとるとはどうしても考えられない、吉田の手伝をする党はない、過般数をとれない吉田内閣は再び日本に表れることはなく鳩山派と緑光氏との提携が世間の期待を裏切らず新政権を握ることであろう

大野派は支流で 鳩山派は本流案

只見川開発問題は重要な今次選挙の課題である。過般選挙にも本派案を支持し、今回の選挙でも新潟案を向うに廻して活躍したのは高木前代議士であり中央の情報及び翌原経文書問題でも単身活躍したことは承知の事実である

これを横取りして自分が仕事をするが如き政策をかかげている候補者がある。それのみか新潟支持に対しては大野伴睦氏が声明を発した事も承知のところである大野一派はかくて支流案という癌いは濃厚であり、幾多のデマに乗せられぬことが緊要で、この際この点を再認識せねばならぬ

仕事をした人は誰

人物である事はもちろんである人物本位に、ほんとうにわれわれの役に立つ人物に投票して、地方開発の一助にすることが最も大切なことである

此処において現在まで我らの希望している通りの仕事をやつたものは誰かという点を研究する必要がある

この点になると高木松吉氏は単に三区のみの問題許りでなく、福島県のために働いている。これらの事実を実践するものに本宮町あり、二本松あり、福島あり

泣き落し戦術より 地方開發に働く人

選挙の度毎に泣き落し戦術の得意な人がいる。平常は頭を下げることも嫌いな人が一度び選挙となると「御同情を願います」と膝上からほんとうに泣いてお願いする、可愛相だと云つて一票投ずる気持ちになる。しかしこれは過去の事であつて、候補者が泣いたから一票を投ずるというような無自覚な有権者はもういない。民主時代となつて、親子でもその主義主張に応じて個々別々に投票している新しい時代、旧式な泣き落しにだまされるような人はいないだろう

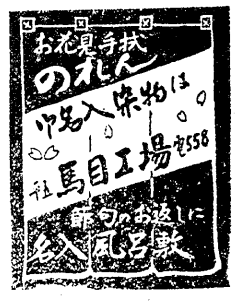
度々の選挙によつて有権者の自覚は向上している。同情をして一票投じたが、さて任期中の行動を見ていると地方のため、何んにもならなぬ。いばつてばかりいて地方民と膝を交えて話をすることもしない

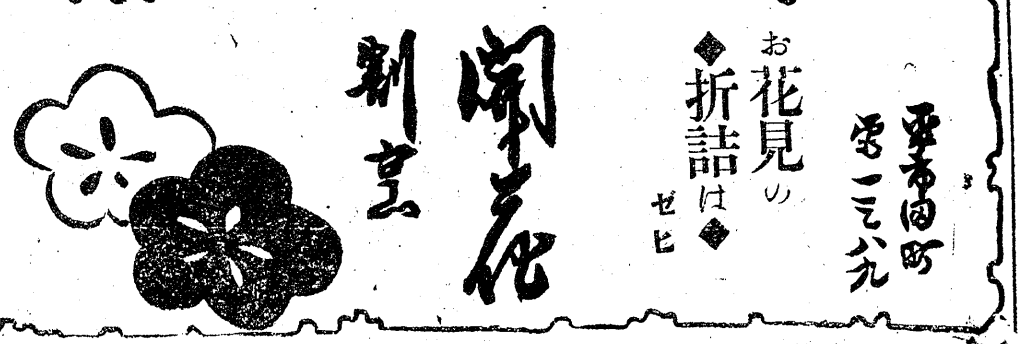
こんな人物は断然排斥すべきである。静かに今回立候補した人々の過去の行動をよく研究することである。平市のため、石城郡のため一つでも仕事を実行してくれたか否かを再検討すべきである

情実で汚すな一票 人物本位で投票せよ

清き一票の行使は今回の総選挙では最も大切なものであり、棄権をするが如きは自己の権利を放棄するものであるが故に、最も慎重でなければならぬ

前述の泣き落しと共に情実にかられて嫌々ながら投票する事があつてはならぬ。このような投票で当選したとしても依然としてこの人は、国家のためにも地方のためにも、何ら役にたたぬ





大黒屋独特のBB商品近日全店に再登場致します

感謝 大黒屋を御支援下さる皆様へ

今回の宮金坂店・小名浜店の開店記念賣出しに際しましては全店に渡つて絶大なる御支援を戴きまして社長以下全従業員只感謝あるのみであります 大黒屋は此の感謝此の感激を全員肝に銘じて昭和28年度さらに新たなる努力の道にはく進致す覚悟で御座居ますなお一層の御後援の程お願い申し上げます

株式会社大黒屋 社長 馬目勝次郎 以下従業員一同

4月9日より お花見キャラコ白足袋 売出

福助白タビ	（三枚ハゼ）	170円
駒奴〃	（四枚ハゼ）	120円
奉仕品〃	（三枚ハゼ）	80円

（四枚小ハゼ白タビは平店のみ）

経営革新へ 努力する店

様々の利益ある店
大黒屋連絡店
平店 本店
平支店 本店
湯本店 浜店
小名浜店 坂店

大黒屋のBB商品とは最善品質と値段BEST、BUY最善のお買徳品です

四月十日ヨリ
☆花と共に
アサヒ生ビール を
始めます
初日十日一日限り一立チヨツキ一杯に付き一立一杯サービス
どなたも気軽に入れる
大衆食堂 なじみ
江戸前寿し 和洋食 出前迅速 特製アイス 電話七三三番

紳戸牛肉の店
緑屋牛肉店
本店 電話五三九
支店 電話七九四
市価の一割引売出し中
御花見の供に御酒の供に（ハムソーセージ）
東京メーカー品を沢山取揃へて御待ちして居ます

美味安価
気分の店
食堂 つたや
聚楽館通り 電一、四四六

常磐線に特急運行
線路も東線の改造は明年度

石城郡町村長会を始めとして、各方面から要望されている郡山―平間、客車改造問題については、廿八年度も遂に実現不可能となり、二十九年までには鋼鉄車を運行する旨の回答がこのほど来た。さらに福島―平間の直通列車については、その後乗客状況を調査したところ、利用者が極めてすくないことが判ったので、これは当分実現不可能となった

なお四倉、勿来間ガソリン車の運行も経費の面から実現困難であるが

北海道と東京とを直結する、上野青森間に特別急行列車を運行する問題は、国鉄首脳部で研究中であるが、東北本線廻りと常磐線廻りと何れが有利かについて調査の結果、スピード化のためには、常磐線廻りが最も有望と決定した。これがためさらに常磐線沿線各町村長の運動をもつて常磐線に特急の運行されるよう当局へ陳運動を起す事になつた

県下随一の生産
石城の木炭品質向上

石城地方事務所で二十七年度一ケ年間に管内で生産された木炭生産量をこのほどまとめた、それによると二十六年度の千四百五十五万二千六百九十一キロをやや下廻る千四百四十一万六千八百八十一キロで地方事務所単位にみると県下一の生産量で、一俵生産者売三百円とすると生産者のふところにとり込んだ勘定金は三億一千八百四十三万八千九百円と県下一の成績、このうち県内、県外に移出されたものは七百七十五万六千三十二キロで、石城地方は年間に生産された木炭のうち五割を消費している、なお各種炭別にみると次の通りで雑、ナラが全生産の七割をしめている

白炭◆ナラ一、四三六俵◆雑三一三俵◆梨一一七俵◆粉九俵
黒炭◆くぬぎ九一、一二九俵◆ナラ四二六、二五二俵◆雑五一一、二六〇俵◆松一、六三八俵◆粉一、一七八俵

赤土興栄主事、富田清太郎選管委員長の三氏

内郷公明運動
十五日町内一巡

内郷町選管委、同町公民館では、十五日午前九時から町民一般に公明選挙を徹底せしめるため、消防ポンプを動員しマイクを使用して啓発運動に町内を一周することになつている、なおこれに呼応して綴第一部落館でも十三日午後三時から同町堀坂遊園地内で公明選挙講演会を開く、講師は両選挙課長

緑の羽根
11日から街頭へ

緑の羽根の街頭募金は十一日から廿五日にわたつて行われます。この羽根の売上げによつて平市の緑化をはかろうという趣意ですが

市の試みとしては新川及び公園などに桜や柳などのほか谷川瀬に梅を植えて梅林の名所とするほか街路樹などもたくさん植える計画です

草野村近く選挙
妥協成立せず決戦へ

村長と村議団と対立していた草野村議団に関し、円満妥結の方法をとるべく石城地方事務所の羽賀次長及び有賀総務課長など仲介に入り、三ケ条の妥協案を指示して七日夜会見したが、右に対して草野村長はがんとして応じないため、いよいよ決裂となり、村議団は総辞職して改めて近く選挙を行うことになつた

村長勝つ
訴訟却下さる

右に対し村議派が、地方裁判所民生部へ提出した解散申立は、七日次の如く却下された

即ち申立によると村は多大な損害を受けたというが、何ら損害を受けた事実がないから申立の理由は成立たずとして却下されたもの

右によつて村議団側は敗北したが選挙は来る廿六日執行と決まつた

小名浜運送
表彰さる

小名浜町高山小名浜運送KK（専務高橋幹雄氏）は日本水素の専属会社として、同社製品の輸送に当つているが

健康保険及び厚生年金、社会保険などの料金を完納しているためこのほど大竹県知事から優良会社として表彰され、さらに廿五周年記念事業として優良経営者として表彰された

高橋専務は日大出身で、従業員らと共に職場にあり模範的な経営に当つている

（写真は高橋さん）

勿来校合格者

勿来商等学校（定時制）合格者次の通り

黒岡清、駒田賢次、長島寛好、赤津清男、丹野鉄也、川原吹栄、渡辺和二、稲葉美智子、江尻守、遠藤芳松、鴨原智春、鮭田久男、小松隆作、飛田富美枝、稲辺静雄、佐藤和子、舟生敬、小林進、若杉延雄、渡辺幸男、大堀貞信、根本ノブ子、宗戸保晴、赤津昭一、荒川幸也、荒井貞次、椎名茂雄、矢田部幸夫、富岡宗平、小野清、馬上修磨、村山博、笹川栄二、田子昭紀、高木勝枝、高木勝子、田村一興、本多哲子、鎌田亮

平有権者補充

平市の有権者補充名簿は九日までまつたので、十日から十四日まで市役所内管理委員会で縦覧させる名簿もれの異議申立（申告）期日は十五日までで、十七日選挙委員会を開いて最後の決定をするが大体六百名位の予想である

スクエアダンス
講習会

スクエアーダンス石城サークル（会長、滝川保夫氏）では、十二日午后一時から平第二小学校講堂で滝川会長指導によつて、ソロンレビイ、駅馬車、ヒンキデインキパリから来た娘、あの町この町などを講習する。一般の方の参加も歓迎する、テロスト五十円の予定

桜祭りパーテー

スクエアダンス石城サークルでは来る十九日午後一時から松ケ岡公園で、さくら祭りダンスパーテーを開く、多数同好の士の参加を歓迎している

純益百四十万
三月平競輪

開設二周年記念の三月平競輪の収支決算がこの程まとまり、九日発表されたが、降雨等に祟いされながらも成績良好で百四十三万六千二百七十五円の純益金を得た、収支内訳つきの通り

▼車券売上、三千九百十四万九千三百円
▼車券払戻、二千九百三十五万二千九百四十円
▼施行者収得金、九百七十九万六千三百六十円
▼国庫納付金、五十八万七千二百四十円
▼振興会交付金、百十七万四千四百七十九円
▼開催経費、七百二万四千八百四十四円
▼入場料収入、四十二万六千四百七十八円
▼賞金及賞品、四百二十四万九百五十円
▼純益金、百四十三万六千二百七十五円
主なる経費
▼従事員給料、四十六万五百五円
▼印刷費、二十八万一千二百七十円
▼宣伝広告費、百六万二千四百二十七円

犬の登録せよ

二十八年度の飼犬登録を次の通り受付けていますから、生後九十一日以上の犬を持つている方は市役所衛生課に届出て登録するように

▽前年の登録換は七日から三十一日まで
▽新登録は七日以降なるべく早目に、登録料は三百円

湯本東町通りスズラン燈設置

湯本町の裏銀座、東町通り町内会では総工費十五万円で鈴蘭燈を設置することとなつた、大体十四、五本を交互に両側に設置するが、工費の半分は町から補助を受けることに決つたので近々施工の運びである

橋本磐高校長

会津高校長から磐高校長に栄転した橋本震司氏は九日着任挨拶のため来社

勿来校合格者

勿来商等学校（定時制）合格者次の通り

黒岡清、駒田賢次、長島寛好、赤津清男、丹野鉄也、川原吹栄、渡辺和二、稲葉美智子、江尻守、遠藤芳松、鴨原智春、鮭田久男、小松隆作、飛田富美枝、稲辺静雄、佐藤和子、舟生敬、小林進、若杉延雄、渡辺幸男、大堀貞信、根本ノブ子、宗戸保晴、赤津昭一、荒川幸也、荒井貞次、椎名茂雄、矢田部幸夫、富岡宗平、小野清、馬上修磨、村山博、笹川栄二、田子昭紀、高木勝枝、高木勝子、田村一興、本多哲子、鎌田亮

衛生モデル
内郷町の行事

内郷町では環境衛生モデル地区として、四月分事業計画が次の通り決定した

①十二日、河川清掃実施
②十九日、児童のシラミ駆除
③二十六日、反省座談会と翌月の事業計画協議開催
④毎週一回下水しゆんせつ実施とともに消毒剤撒布
⑤糞尿箱の増設と破損箱の修理
⑥毎週一回便所の周囲及び糞尿箱などに消毒剤撒布
⑦毎週一回好晴の日を選び食事前の手洗実施普及
⑧毎朝道路の清掃実施（少年衛生班の事業）

なお去る五日の発会式に実行委員長江連晴明氏副委員長鈴木市朗氏ほか委員四五名が選出され発足した、また少年班は小学校五年以上の児童生徒で編成され大宮喜一班長ほか十五名となつている

春の婦人子供服と服地

賛助 まつり 桜
春の全店売出し
三ツ揃 広告
4月9日より19日まで
春はお得です…三丁目店
本店支店とも、全力をあげて皆様に贈る、
春物特売大売出しです
お花見がてら御来店、
御一覧下さい。
鈴藤 四丁目店

牛と豚肉 ハムとソーセージ 越 1282

千菓子専問 マルイシの特価販売サービス
◇甘納豆 百匁五拾円
◇カリント〃四拾五円
◇玉子パン〃五拾五円
◇おこし〃五拾九円
◇松風〃六拾円
◇チソパン〃六拾円
◇ジャムサンド〃六十五円
◇ミソせんべ〃六拾九円
◇赤城せんべ〃七拾五円
多少に拘らず配達致します
材木町角 電話四五四番

大谷石 五丁目電六六 井上

今週の映画 時間御案内

平原児		総理大臣の恋文	
①	9、20		12、56
②	1、02		4、38
③	4、44		8、20
④	8、20—10、2		ひかり座
キリマンジヤロの雪			
①	10、		12、25
②	12、25		2、40
③	2、50		5、05
④	5、15		7、30
⑤	7、40		10、05 聚楽館
ニユース剣雲三十六騎		予告トコ春ジヤモノ	
①	10、20		1、10
②	1、15		4、05
③	4、10		7、00
④	7、00		9、55 世界館
やつさもつさ		権九郎旅日記	
①	10、00		1、27
②	1、33		4、51
③	4、56		6、57
④	7、03		10、31 平館

ニユース 予告 七番街襲撃 1210—3、35—7、00
インデアン渓谷 10、35—12、00—2、00—3、25
5、25—6、50—8、50—10、15 9日—15日
民劇

コロムビアラジオ 日東商会

輸出界の王座を占める ミシンの中のミシン ジヨキ
浜三菱代理店 市五丁目 鈴木ミシン商会 電一〇九八番